



進路のてびき

『未来へ向かって』 近日配付 !

本校の進路の手引きである『未来へ向かって』という冊子を学年ごとに近々配付する予定です。この冊子は資料編と進路学習編の2部構成になっています。資料編では卒業生の進路状況や合格者数、3年次の実力考査と各大学の可否の相関、入試スケジュールや大学入試センター試験の概要、卒業生の合格体験記を掲載しています。また、進路学習編は、LHRやGSの時間時間で活用する学習内容がまとめられています。担任の先生から見方などの説明があると思いますので、各自で繰り返し読み、自分の進路実現に役立ててください。保護者の方も御一読いただければと思います。



理想的な自宅学習

高校生活も2カ月が過ぎますが、今年は臨時休業期間もあったこともあり、高校生活に慣れるにはもう少し時間がかかる人もいるかもしれません。

さて、4月に宅習時間調査を行いました。その時の学習時間を覚えているでしょうか。本校は平日3時間、土曜日4時間、日曜日6時間の宅習時間（これをサンシローと呼んでいます）を目安に、**週25時間の宅習時間を最低の目標時間**としています。その実現のための生活スタイルを下にまとめてみました。

平日の自宅学習

21時	24時	6時
食事・風呂等	勉強	睡眠
		起床

上の生活時間帯は平日の理想形です。翌朝、早く家を出ることを考えると、あまり夜遅くまで勉強することはできません。そのため帰宅後なるべく早い時間帯（遅くとも21時まで）に自宅学習に取り組み、24時

くらいまでには寝られるようにしたいものです。また、宅習時間を確保するためにはテレビやスマホに時間を取られるなどの無駄な時間を極力作らないことが大切です。テレビも見たいドラマなどがあれば録画して、週末の空いた時間に視聴するなどの工夫が大切です。可能な限り平日3時間の自宅学習を目指しましょう。

休日の自宅学習

14時	17時	20時	23時
午前部活	勉強	自由・食事・風呂	勉強
			睡眠

上の生活時間帯は休日の過ごし方の一例です。部活動で半日ほどは時間を取られると思いますが、それでも休日は5時間ほど学習時間を取り、その週の学習内容の復習や休日課題などに取り組んでほしいと思います。また、次週の予習も早め早めに、先に先にやっておくと後が楽で、その分復習の時間に回せます。

週20時間を切るような学習では高校の学習は定着しませんし、ましてや国公立大学に合格できる力はなかなか付いていきません。

自分の理想の生活スタイルを作るのに最初は苦労するかもしれませんが、いったん習慣化すれば後は楽にできるようになります。是非、この1学期で学習する習慣をつけられるよう頑張ってみてください。

自分を知る

みなさんは自分のことをどれだけ知っていますか。これから文理選択や進路志望を考えていく上で、今までの自分や今の自分を深く知るということはとても大切なことです。進路とはある意味、「未来における自分探しの旅」です。未来の自分を探すためには、出発点である自分を深く理解しておく必要があります。自分はどのような性格で、どのような長所と短所があり、何が好きで何が嫌いか。

6月に自分を振り返る取り組みがあると思いますので、そのような機会を利用して考えてみてほしいと思います。

2020年度大学入試結果分析

大学入試センター試験 編

以下は、今年1月実施の最後の大学入試センター試験結果の概要です。本年度から新しく大学入学共通テストが実施されますが、入試結果を参考に見て下さい。

● 志願者・受験者

- ① 志願者は557,699人、受験者は527,072人。
(新卒高校卒業者の43.3%の人が受験しています。)
- ② 志願者数は昨年度に比べ19131人、現役志願者数は12715人となっており、その主な原因として18歳人口の減少が上げられる。

● 平均点

① 全国平均点

	平均点	前年比
7科目文系型	548点	-22点
7科目理系型	559点	-17点

② 主要科目全国平均点

教科・科目	平均点
英語	116.3
リスニング	28.7
数Ⅰ・A	51.8
数Ⅱ・B	49.0
国語	119.3
物理基礎	33.2
化学基礎	28.2
生物基礎	32.1
地学基礎	27.0
物理	60.6
化学	54.7
生物	57.5
世界史B	62.9
日本史B	65.4
地理B	66.3
倫理	65.3
現代社会	57.0

左記は主要科目の全国平均点です。教科・科目にもよりますが、だいたい100点満点で60点程度に設定されています。国公立大学合格を目指すのであれば、まず、6割の得点率、つまり全国平均点くらいはとることが重要です。4月実施の課題考査の結果や先日の定期考査の手応えはどうでしたか。範囲がある実力考査や定期考査を自信を持って解答できる力をつけていくことが、上記の目標点に近づく目安となるはずです。

コラム

自分の好きなことを探そう

今、みなさんには好きなことがありますか? 「好きなことを見つける」ということが、実はこれからの進路選択にとってとても重要です。

これまでも好きなことを志して、進路志望を決定していった先輩も多くいました。書道が好きでその道を極められる芸術学部を進路志望に選択した先輩、高校時代に部活動の水泳で良い記録を残すために日々の食生活を考えるようになり、その結果、栄養学に興味を持ち、管理栄養士を育成できる大学を志した先輩、本を読むのが好きで図書館の司書を目指した先輩、小さな頃から物作りが好きで機械や建築への興味を深めるため工学部を志した先輩、理数科の課題研究で昆虫が好きになり理学部を志した先輩、ALTの先生と交流し、英語が好きになり語学系の大学を志した先輩などなど・・・

大学の勉強は、高校と違って先生から「これをしなさい」と与えられるものではありません。自らやりたい研究テーマや課題を見つけて、自主的に調べ、実験や調査しながら深めていくのが大学です。そのためには、自分が好きな学問分野を見つけて、「こんな研究をしてみたい。」という強い気持ちを持っていた方がいいのです。

みなさんは、今何が好きですか?好きなことがあるか、これがまずは進路選択では大切になってきます。好きなことがまだない人は、今目の前にある部活動や学校行事、授業を一生懸命に受けるなど、学校生活をまずは真剣に送ってみてください。そして少しでも興味のあることを自分で深めていくことで、段々と好きなことが見つかってくると思います。

好きなことを大学4年間で勉強できる。好きなことを職業にできる。こんなに幸せなことはないと思います。高校生活の早い時期に見つかるといいですね。

